

令和8年度 第1回 学校運営協議会（報告）

令和8年6月12日(金) 18:00～ 10 教室

参加者（敬称略）

学校運営協議会委員（井上昌善・福見光生・高山重樹・徳田健市・池田央・宮瀬盛治・
泉正人・高森裕樹）

愛媛県教育委員会 社会教育課（大野健司・丸山武雄）

本校（校長・教頭・総務主任・魅力化コーディネーター）

1 開会行事

- (1) 開会の言葉
- (2) 開会挨拶(校長)
- (3) 委員委嘱
- (4) 自己紹介

2 協議

- (1) 会長・副会長選出
会長 井上昌善 様 副会長 徳田健市 様
- (2) 令和8年度の学校経営について(校長)
 - ・内子高等学校 学校概要と未来への戦略
 - ・教育目標
 - ・令和8年度自己評価表
- (3) 内子高校魅力化プロジェクトについて(魅力化コーディネーター)
 - ・地域学校協働活動推進員4～6月の活動報告
- (4) 質疑・応答

質疑1：学校宣伝ポスター掲示の場所について（校長）

- ・協力できるので、ポスターを持参してほしい。(委員C)
- ・積極的に持って回り、依頼をすればよい。(委員G)
- ・生徒がポスターを持って地域を回るのはいかがでしょうか。その際の交渉も含め生徒の経験につながる。(委員A)

質疑2：魅力化のゴールについて（委員A）

- ・大洲市からの生徒が半数を占め、内子町内の生徒が3割程度であるため、まずは町内の中学生に来てもらうことを目指したい。(校長)

質疑 3：中学生が高校について知る取組について（委員 A）

補足：中高生の交流の機会を増やし、内子高校生がロールモデルとなることで中学生への良い影響が期待できる。また、内子高校卒業後の進学・就職先を具体的に示すことで、生徒や保護者の安心感につながる。

- ・内子高校から内子町役場への就職実績があり、地元高校であることを強みにして受験できる。（校長）
- ・探究活動の成果を進路実現につなげるため、地域で生徒を受け入れ活躍できる場をつくることが重要となる。（委員 A）
- ・高校と中学校の部活動連携は中学生に与える影響が大きい。美術部、吹奏楽部、陸上部など、共に活動することで中学生の意欲や関心の向上につながっている。中学校は拠点校方式で部活動を実施しているため、町内の中学生にとって大きなメリットとなっており、今後もさらに連携を深めたい。（委員 H）

その他

- ・学校説明会は親も来るため、生徒だけでなく親も意識した説明も取り入れてはどうか。（委員 G）
- ・学校の発行物を同窓会の理事に定期的に配布し、協力を得られる体制づくりを進めたい。（委員 C）
- ・登下校時の態度や公共の場での行動において、学校の印象が悪くなるような懸念があるため、よりいっそうの注意喚起と指導の徹底が必要と感じる。（委員 I）
- ・小学生に危険な場面を教える立場を経験させることで、生徒自身の行動改善につながる可能性がある。（委員 A）

3 閉会行事

- (1) 閉会行事(副会長)
- (2) 閉会の言葉

諸連絡(教頭)